

市民福祉委員会記録

1 日 時 令和5年6月23日(金)
午前10時00分 開会
午前10時53分 閉会

2 場 所 第3委員会室

3 出席委員

委員長	白川 誉	副委員長	河内 優子
委員	伊藤 義男	委員	小野 志保
委員	合田 晋一郎	委員	小野 辰夫
委員	藤原 雅彦	委員	大條 雅久
委員	仙波 憲一		

4 欠席委員

なし

5 説明のため出席した者

副市長	加藤 龍彦		
・福祉部			
部長	古川 哲久	総括次長(地域福祉課長)	久枝 庄三
健康政策課長	佐々木 正子		
・福祉部こども局			
局長	沢田 友子	こども保育課長	正岡 大典
・消防本部			
消防長	高橋 裕二	総括次長(消防総務課長)	後田 武
警防課長	伊藤 英知	予防課長	高橋 茂雅
消防総務課主幹	宮武 太郎	警防課主幹	柴田 三輝
予防課主幹	井戸 章夫		
・市民環境部			
部長	長井 秀旗	総括次長(地域コミュニティ課長)	藤田 清純
次長(危機管理監)	小澤 昇	危機管理課長	岡 政昭
・市民環境部環境エネルギー局			
局長	松木 伸	カーボンニュートラル推進室長	高橋 憲介

6 委員外議員 加藤 昌延 片平 恵美

7 議会事務局職員出席者

議会事務局長 山本 知輝 議事課主事 田辺 和之

8 本日の会議に付した事件

(1) 付託案件審査

議案第38号 新居浜市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について

議案第39号 令和5年度新居浜市一般会計補正予算(第2号)

請願第3号 物価高騰に見合う生活保護基準の引き上げを求める意見書の提出方について

陳情第1号 乳幼児・小児用新型コロナワクチン接種における慎重な対応を求める意見書の提出方について

(2) 閉会中の常任委員会開催について

(3) 行政視察について

8 会議の概要

○ 開 会 午前10時00分

●白川委員長：〈開会挨拶〉

○加藤副市長：〈挨拶〉

(1) 付託案件審査

◎福祉部関係

◇議案第39号 令和5年度新居浜市一般会計補正予算(第2号)

○久枝福祉部総括次長(地域福祉課長)：〈説明〉

〈質疑〉

●伊藤委員：健康アプリ改修の委託先はどういった企業か。

○佐々木健康政策課長：委託事業者はこれから決定する。

●伊藤委員：サービスを何人の市民が使用する想定か。

○佐々木健康政策課長：健康アプリの登録人数は、今年度3,000人を目標としている。

●伊藤委員：マイナンバーカードで問題が発生し、国でもマイナンバーカードに関してのシステム上の取扱いを検討するとなっているが、もしシステム上の変更を国が行った場合、その対応に別途予算がかかるのではないかと思うが、それを含んでの予算か。

○佐々木健康政策課長：今は質問にあったような状況になるかは不明であるため、マイナポータルが参照できるようにする改修費のみである。

●大條委員：私立保育所等施設整備補助金の3園への内訳は。

○正岡こども保育課長：金子校区の新設保育園分が2億1,954万3,000円、泉幼稚園分が646万円、愛光幼稚園分が2,739万6,000円である。

●大條委員：金子は新設のため、額が多いのはわかるが、ほかの2園の内容は。

○正岡こども保育課長：泉幼稚園、愛光幼稚園ともに令和4年度、令和5年度の2か年事業での整備となっている。令和4年度で新しい園舎がほぼ建設され、令和5年度の整備事業は残りの部分で、泉幼稚園については補助事業対象事業が旧園舎の解体のみ、愛光幼稚園については旧園舎の解体と新園舎の継ぎ足し部分の工事で、前年度より低い金額となる。

*後刻一括採決

◇請願第3号 物価高騰に見合う生活保護基準の引き上げを求める意見書の提出方について

〈意見・討論〉

●伊藤委員：近年の物価高騰で利用者にとっても深刻な状況であると理解はしている。保護費引上げは行わないといけないと思っているが、本請願書内容では一律した引上げとなってしまうが、一律した引上げは、ギャンブル等で使用する利用者もいると思う。そのような実態があれば世論の反発が予想されるため、引上げ分をポイントや商品券で支給するなどの提案事項も必要だと思う。また、外国人の利用者への引上げは賛成しかねる。以上の請願事項の不足があるため本請願は不採択としたい。

●小野辰夫委員：生活保護基準については、国が国民の消費動向や社会経済の情勢を総合的に勘案して決定しており、急激な物価高騰に対してもその状況が反映される仕組みとなっている。請願書は生活保護基準の見直しについて、平成 25 年から 27 年と平成 30 年から令和 2 年に生活保護基準が引き下げられたとしているが、実際には世帯構成により、保護費が上がった世帯と下がった世帯がある。これは、生活保護基準が世帯人数や年齢ごとに細かく設計され、その時々々の情勢により改定されたものであり、一部の改正をもって全体の評価をするのは不適切と考える。また、生活保護基準は原則 5 年に一度の見直しで、令和 4 年 12 月に令和 5 年 10 月以降の保護基準に見直しが行われている。今回の見直し案でも世帯人数や世帯員の年齢による見直しが行われたが、物価高騰や新型コロナウイルスの影響も踏まえて 5 月に一部修正もあり、ほとんどの世帯で増額が見込まれるものとなっている。また、令和 5 年 10 月から令和 6 年末までの全世帯 1 人当たり月額 1,000 円が加算されることになっており、仮にこの加算によっても現行の基準額から減額となる世帯がある場合は、現行の基準額が保障されることになっている。令和 7 年度以降の基準についても今後の社会経済情勢等の動向を見極めながら改めて検討される予定である。また、国は新型コロナウイルスと円安の進行、これに続く急激な物価高に対応するため、令和 3 年度 10 万円、令和 4 年度 5 万円、今年度 3 万円の給付金も支給しているが、対象者には生活保護世帯も含まれており、保護費の支給とは別に、他の低所得者の世帯同様に家計支援として手当てされている。以上のような生活保護基準の見直しは今回の見直しを含め、物価の状況を勘案して検討されているものであり、また、生活保護世帯に対する実際の給付はその時々々の情勢に応じて臨機応変に適切に処置されているため、本請願については不採択にすべきであると考えます。

<採決> 賛成するものなく不採択

◇陳情第 1 号 乳幼児・小児用新型コロナワクチン接種における慎重な対応を求める意見書の提出方について

<意見・討論>

●伊藤委員：新型コロナウイルスが 5 類に移行され、子供たちの重症化がほとんどない状況で、特例承認の治験が完了していない mRNA ワクチンを接種することは、子供たちの将来的な影響も考えて、乳幼児・小児用型新型コロナワクチン接種は一度立ち止まり、検証し、慎重な対応が必要だと考える。また、本陳情はワクチン接種の中止を求めるものではなく、新型コロナワクチンのメリット、デメリットをさらに十分に周知を図り、該当者への理解度の確認を求めるものであると考える。子供たちの将来的影響を最重要視し、賛成である。

●河内委員：新居浜市における乳幼児の新型コロナワクチン接種のご案内には最初の 1 行目に、ワクチン接種は感染した場合に症状が出にくくなるなどの効果がありますが、副反応や健康被害が起こることもあると記載した上で、厚生労働省が発行している新型コロナワクチン接種についてのお知らせと保護者への説明と一緒に配付している。その中身は新型コロナワクチンの効果と、安全性として接種後 7 日間で現れた症状についても具体的に情報共有されており、ワクチンに関する相談先や予防接種健康被害救済制度についても明記されている。また、接種を希望する場合の予診票では、医師の診察、説明を受け、接種の効果や副反応について理解した上で接種を希望しますかの問いに対して、接種を希望する場合は

保護者の氏名を自署することになっている。また、今年6月9日には日本小児科学会より小児への新型コロナウイルスワクチン接種に対する考え方が公表され、今後感染対策が緩和される中で多くの小児感染者が発生することが予想され、重症化を予防する手段としてワクチン接種は引き続き重要であり、接種に伴う利益は副反応等の不利益を上回ると現時点では考えられ、引き続き小児への接種を推奨しますと発表されている。以上のことから本陳情には賛同できず、不採択でお願いしたい。

●小野志保委員： ワクチン接種は本人の自由である。しかしながら、接種したい人に確実に接種できる体制を整えることが行政の責務である。先の一般質問で、全国の医師 390 名がワクチン反対と言っていたが、令和4年3月付の厚生労働省の発表では2020年の医師の数は33万9,623人と聞いている。行政としてはできる限りの情報を案内して、あくまで本人の自由として推進することをお願いし、反対する。
<採決> 賛成少数 不採択

休憩 午前10時18分 / 再開 午前10時19分

◎消防関係

◇議案第38号 新居浜市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について

○高橋予防課長： <説明>

<質疑>

●藤原委員： 現在新居浜市内において急速充電設備はいくらあるのか。

○高橋予防課長： 急速充電設備の関係団体の情報によると、市内に8か所設置されていると把握している。

●藤原委員： 今後増える可能性は。

○高橋予防課長： 電気自動車の普及に国で取り組んでいる中で、市内についても、今後電気自動車の普及に併せて、急速充電設備設置件数は増えると考えている。

●藤原委員： 行政として、点検等の安全対策を行うのか。

○高橋予防課長： 50キロワットを超えるものについては、消防への届出が必要で、届出があれば消防で立ち入り検査等を実施し、条例基準に適合しているか等を確認する。

●藤原委員： 申請段階では確認するが、それ以降は設置者に任せるということか。

○高橋予防課長： 防火対象物に設置されている場合は、条例の届出設備ということで、定期の立ち入り検査に併せて確認を行う。

○高橋消防長： 先ほど申した市内の8か所は、愛媛日産、イオンモール、ダイキ、マイントピア別子といった所で、それらの場所は法令の対象物となっているため、年に1回ないし3年に1回と、検査の基準が決まっているため、対象物の検査に併せて条例関係の立ち入り検査を行っている。

<討論> な し

<採決> 全会一致 原案可決

◇議案第39号 令和5年度新居浜市一般会計補正予算（第2号）

○後田消防本部総括次長（消防総務課長）： <説明>

<質疑>

●大條委員： 地域防災力連携強化事業については、小学生が参加しての防災訓練だと思うが、いつ、どの範囲で、どの程度のものを想定しているのか。

○高橋予防課長： ぼうさい駅伝の実施時期については、11月14日を予定している。対象の小学校については1校をモデル校として今年度実施し、惣開小学校を対象とする予定。

●大條委員： 婦人防火クラブと連携してということだが、婦人防火クラブの人数などの活動の実態はどのように把握しているのか。

○後田総括次長： 婦人防火クラブは現在市内に6組織あり、人数は把握できていないが、活動としては、主に救急講習、住宅用火災警報器の普及促進のPR等に参加してもらっている。

●大條委員： 消防団充実強化事業費については、将来の消防団員候補である高校生への意識啓発とのことだが、高校生への周知はどのような計画になっているのか。

○伊藤警防課長： 現時点では、新居浜東高校をモデル校として学校と協議を進めている段階である。

*後刻一括採決

休憩 午前10時31分 / 再開 午前10時33分

◎市民環境部関係

◇議案第39号 令和5年度新居浜市一般会計補正予算（第2号）

○藤田市民環境部総括次長（地域コミュニティ課長）： <説明>

<質疑>

●伊藤委員： 避難所チェックイン管理システムについて、現在、高齢者福祉施設で保険証がマイナンバーカードとひもづけされた場合の管理対応が非常に問題になっていると聞いているが、実際に運用が始まって混乱を招くだけかと思うが、いかがか。

○岡危機管理課長： 基本的にはマイナンバーカードを持参している人が、カードリーダーに通す形、もしくはマイナンバーカード機能を持たせたスマートフォンでチェックインする形を考えている。チェックイン管理システムのみで活用する予定としているため、保険証の関係については、現段階では考えていない。

●伊藤委員： チェックインの管理方法はデジタルとアナログの両方で行うのか。

○岡危機管理課長： 基本的には従来通りアナログの紙で受け付ける形で行い、なおかつマイナンバーカードを持っている人についてはデジタルでチェックインしてもらうような形を考えている。

●伊藤委員： 太陽光発電の設備導入助金について、先日的一般質問で、処理及びリサイクルの状況を伺ったが、処理方法やリサイクル方法が現在進行形で行っているわけではなく、検討段階であると認識したのだが、その認識で良いか。

○高橋カーボンニュートラル推進室長： 認識のとおりで間違いない。

○松木環境エネルギー局長： 今でも太陽光パネルのリサイクル処理ができる業者は県内に複数存在しており、現時点で処理に困るということではない。今後、2030年以降に、現在に比べ多量の廃棄が出ることに對して国が現在研究していると認識している。

●伊藤委員： 太陽光パネル等をどこかに溜めているのではなく、処理はされているということか。

○松木環境エネルギー局長： 今のところそれほど多くのリサイクル実績はないと思うが、現在廃棄しているものについては、対応できる事業者国内に多数存在している。

<討論>

●合田委員： 負担金補助及び交付金の支出での補正が多いため、適正に利用されていることを確認することを要望して賛成する。

●伊藤委員： 避難所のチェックイン管理システムについては、実際の運用が始まってマイナンバーカードを使用する高齢者は少ない状況ではないかと考える。高齢者福祉施設の方の避難についても考えられていないということで、事業が無駄に終わる可能性がある。また、太陽光の補助金について

はリサイクルが現在もされているということだが、大量に廃棄が出た場合の方法等について検討中という段階では、今の大人たちが利益だけを得て、処理やリサイクルを子供世代に負担させることには納得いかない。国からの補助金が100%出るとのことだが、未来の新居浜に負担になる可能性が非常に高いと思う。補助金の金額と将来的な子供たちの負担を考えると、負担の方が大きいと思うため、反対する。

<採 決> 賛成多数 原案可決

休憩 午前10時46分／再開 午前10時47分

(2) 閉会中の常任委員会開催について

●白川委員長：5月15日に開催された委員長会において、今年度においても、昨年度と同様、所管課から状況報告等を受ける場として、閉会中の委員会を開催することに決定した。開催月については、委員会によって案件等の状況が異なることから、各委員会で判断することとなった。なお、正式な委員会として開催することに伴い、継続審査となっている案件があれば、閉会中の委員会において審査をすることになる。

●白川委員長：まず、候補日として、8月7日から8月10日の間で考えているが、都合はどうか。

●合田委員：7日は都合が悪いので、8日から10日の間でお願いしたい。

●白川委員長：日程については、担当課の都合もあることから、最終の決定は、正副委員長に一任いただけるか。

(異議なし)

●白川委員長：調査項目について希望はあるか。

(発言なし)

●白川委員長：調査項目については、6月30日までに私もしくは担当書記まで提出し、その後、正副委員長において調整、決定するというので、一任いただけるか。

(異議なし)

(3) 行政視察について

●白川委員長：日程は、7月11日(火)から14日(金)までの3泊4日で、研修先及び研修項目については配付の資料のとおりである。この内容で実施してよいか。

(異議なし)

●白川委員長：それでは、この内容で決定するが、諸般の事情により変更が生じた場合は、委員長に御一任いただきたい。

○ 閉 会 午前10時53分

市民福祉委員会付託案件表

令和5年6月23日

○福祉部関係

議案第39号 令和5年度新居浜市一般会計補正予算（第2号）

第1表 歳入歳出予算補正中 ページ

歳出 第3款 民生費 5・18・19

第4款 衛生費

第1項 保健衛生費

1目 保健衛生総務費 5・19

請願第3号 物価高騰に見合う生活保護基準の引き上げを求める意見書の提出方について

陳情第1号 乳幼児・小児用新型コロナワクチン接種における慎重な対応を求める意見書の提出方について

○消防関係

議案第38号 新居浜市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について

議案第39号 令和5年度新居浜市一般会計補正予算（第2号）

第1表 歳入歳出予算補正中

歳出 第9款 消防費 5・25

○市民環境部関係

議案第39号 令和5年度新居浜市一般会計補正予算（第2号）

第1表 歳入歳出予算補正中

歳出 第2款 総務費

第1項 総務管理費

9目 広聴費 5・17

13目 防災諸費 5・17

第4款 衛生費

第1項 保健衛生費

5目 環境管理費 5・20